



2026年8月18日

各 位

会社名 明和産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保秋 実
(コード番号 8103 東証プライム)
問合せ先 総務部長 石井 敬
(TEL.03-3240-9011)

**インドネシアにおけるバイオマス関連事業への参画に関するお知らせ
～地産地消型エネルギーの確保と、環境負荷低減への取り組みを加速～**

当社は、インドネシアにおいてバイオマス燃料の開発・生産・販売を手掛ける PT Santomo Biomass Indonesia (以下、「SBI 社」) への出資を決定し、契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の理由と戦略的意義

当社は、中期経営計画 PI2028 において「ポートフォリオ変革」を最大施策として掲げ、将来の収益の柱となる次世代領域の事業育成を推進しております。本件は、その戦略を牽引する第1号案件です。

● エネルギー安全保障への貢献

昨今の地政学リスクの緊迫化、特にホルムズ海峡封鎖リスク等に象徴される化石燃料の供給不安は、特定の国や地域に過度に依存する供給構造の脆弱性を浮き彫りにしました。石油調達が困難になる事態が現実味を帯びる中、地産地消型エネルギーの確保は、商社としての供給責任を果たす上で不可欠な戦略的課題です。

● マテリアリティの具現化

本事業は、当社のマテリアリティの一つである「環境負荷低減に向けた取り組み強化」に直結するものです。インドネシア国内で豊富に発生する未利用資源を高品質な燃料へと再生し、既存の化石燃料(石炭・重油等)からの代替を促進することで、脱炭素社会の実現とエネルギー安全保障の確立を同時に追求してまいります。

2. 事業の強みと今後の展開

本投資により、SBI 社の強固な原材料調達ネットワークおよび製造機能と、当社グループが持つトレーディング機能を連携させ、取扱量のさらなる拡大を目指します。具体的には、現地法人 (PT Meiwa Trading Indonesia) がインドネシア国内でのデリバリーおよび販売を担い、当社が日本市場を中心とした海外輸出を強力に推進する体制を構築いたします。

商材面では、既に販売を開始している PKS (ヤシ殻) や木質ペレットに加え、新規事業として「もみ殻ペレット」の製造・販売を立ち上げます。これら複数のバイオマス資源をマルチソース化することで、不測の天災や市況変動による供給リスクを分散し、需要家に対して、環境価値と安定供給を両立した強靱なサプライチェーンを提供いたします。

3. 今後の見通し

本件による当社の2027年3月期の業績への直接の影響はありません。本事業は、中長期的な収益基盤の構築を見据えた「段階的な事業参画」の第一段階と位置づけております。今後は事業の進展に合わせ、さらなる事業領域の拡大および資本関係の深化を検討するとともに、社会の持続可能な発展への貢献を通じて、企業価値の向上を目指してまいります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上